

第1回目（7月14日）

検討協議の視点

- ・令和3年度検討会議の進め方について
- ・次回会議の協議内容について

第2回目（8月12日）

「まちなか」と「公共施設」

テーマ

- ・社会教育施設の利用変容と施設の課題
- ・まちなかの「賑わい再生」につながる「新しい公共施設」に必要な役割

<情報提供資料> 社会教育施設の現状（利用状況の推移、利用層、利用頻度など）

第3回目（9月）

公共施設の役割・機能

テーマ

- ・これからの「公共施設」が担う役割、市民が望む使われ方は。
- ・「社会教育機能のほか」に新たに付加する（すべき）機能（具体的に）

<情報提供資料（案）> 市内団体利用の現状、新しい公共施設の利用イメージ

第4回目（10月）

立地場所

テーマ

- ・まちなかでの立地を考えるにあたり、その中で（廃線後の）駅周辺地区の利活用の可能性や、優位性を比較検証

<情報提供資料（案）> 駅周辺地区のまちづくり上の位置づけ、役割、過去における災害リスク等データ

市民WS、アンケート（10月から11月を目途に実施）

第5回目（11月）

運営、活動、財源

テーマ

- ・「新しい公共施設（社会教育機能含む）」の運営方法
- ・新しい市民活動のイメージや官民の役割分担、周囲との連携方策等

<情報提供資料（案）> 官民連携による整備手法例、使用可能な財源、市の今後の財政計画

第6回目～（12月～1月）

まとめ

テーマ

- ・これまでの協議経過のとりまとめ
- ・市への報告内容案の検討

<情報提供資料（案）> 協議経過まとめ、報告書骨子（案）

内容修正

市へ検討会議報告書（新たな公共施設の方向性〈仮称〉）を提出

（R4.2月頃）

まちなか（中心市街地）の「賑わい再生」と「公共施設」を考えよう

第2回のテーマ

- 社会教育施設の利用変容と施設の課題

- まちなかの「賑わい再生」につながる「新しい公共施設」に必要な役割は

まちなかに賑わいをもたらすための空間づくりと必要な機能について話し合しましょう

<今後の検討フロー>

機能は？

活動団体のほか、普段使いも考えて、まちなかに相乗効果が波及する機能は何だろう

優先する施設機能を考えながら、まちなか再生にどうつなげるか。

立地場所は？

「(廃線後の)駅周辺地区」と「その他まちなか」なども比較検討しながら

誰が運営する？

官民連携の手法、事例紹介、運営コストなども織り交ぜながら

どんな活動が生まれる？

新たな公共施設の方向性

(公共施設整備検討会議報告書)

にぎわい復活地区

交流とにぎわいの核

中心市街地の入り口に位置するシンボルゾーン

市民文化ゾーン

